

Discovery H. S. Kanzaki

2020. 7. 8

第455号

兵庫県立神崎高等学校

TEL 0790-32-0209



ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

夢を発見し実現できる学校

学校再開!

新型コロナウイルス感染症により長い間休校が続いていましたが、6月1日より学校活動が再開されました。生徒は久しぶりの授業に緊張の面持ちで取り組んでいます。

今回は学校再開により各学年で取り組んでいる活動の一部を紹介させていただきます。

1学年 スーパー オリエンテーション

46回生の学年初の大きな行事として校外オリエンテーションがあります。まずは6月19日の総合的な探究の時間を利用して、チームごとにA4用紙を組み合わせたタワーの高さを競うチームビルディングにチャレンジしました。メンバーそれぞれにアイディアや意見を出し合い、工夫しながらより高いタワーづくりに挑みました。チームによって1メートルを超える高さのタワーを作り上げる

など、各チーム、オリエンテーション当日に向けての結束力を高めました。



オリエンテーション当日の24日は、やや日差しが強い晴天のなか、チームごとに各チェックポイントを巡りながら、学校周辺の福本区の散策に出ました。チェックポイントでは地元の歴史や地理にまつわるクイズにチャレンジし、楽しい時間を過ごせました。地元の人々にもお世話になりながら、学校周辺を散策できたことは、46回生にとっては貴重な経験となったと思います。学年全員が交流を深めながら1日を過ごすことで、高校3年間で共に過ごす仲間たちとの絆を深める行事となったと思います。



2学年 総合的な探究

中堅学年となった2年生は学びの主体性を高めるために総合的な探究の時間を使って、自ら課題を見つけ探究する活動を行っています。6月はその第一歩として探究テーマの発見に取り組みます。

テーマ決定の方法としてQFT【質問づくり】に取り組みました。「喫煙」という大きなテーマについて質問を複数作り、そこからグループで話し合い探究テーマとなる質問を決めていきます。普段の授業とは違う主体的な学習に生徒たちは積極的に取り組んでいました。これからそれぞれのテーマについて探究活動を進めていきます。



3学年 進路実現 へ向けて

進路実現に向けての取り組みを一つ紹介します。

一つは、就職希望者対象補習です。補習とはいえ、受講者は、家庭学習の成果を、小テストで試すという形式をとっています。自分のペースで就職問題集に取り組みんでいます。

もう一つは、校内予備校です。進学希望者が、外部から来ていただいた先生から、基礎と標準の二講座に分かれて英語を教えてください。ともにスタートの遅れを取り戻すべく、でも焦ることなく取り組んでいきます。



ちょっと一言 ◇待ちに待った学校再開でした。しかし、生徒も教職員も、すぐに体がなじむわけもなく、6月当初2週間の午前午後の分散登校の工夫もかわらず、随分疲れていました。が、神崎高校の生徒ですからなんとか6月いっぱいかけて「新しい日常」に対応できました。さて、新型コロナウイルスの影響によって、いつものスーパーオリエンテーションが実施できなかったものの、1年生（46回生）と教員スタッフの工夫や補い合いにより、その目的を果たすことができました。2年生（45回生）は、今年度から本格的に導入したQFT（質問づくりの技法）をフルに活用して、主体的に夢の発見に向かって歩みだしました。7月1日から求人解禁。3年生（44回生）は、就職・進学に向けて動き始めました。校長の面接練習もスタート。「神崎高校のいいところは？」という質問に、「先生と生徒との距離が近いことです。先生方が親身になって私たちを支えてくださるところです」と笑顔で答える姿を見て、先生方の真摯な取組に自信がもてました。これも、保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力があったことだと感謝しています。（校長）